

<会員による自著紹介> * 紹介者である会員

看護職としての社会人基礎力の育て方(第2版)

箕浦とき子¹⁾(編著)・高橋 恵²⁾(編著)・
松本喜代子³⁾・近藤昭子⁴⁾・滝内隆子⁵⁾・
杉浦太一⁶⁾・中野裕子⁷⁾・前場和栄⁸⁾・
垣花 渉⁹⁾*

1),6) 岐阜大学・2),4) 聖マリアンナ医科大学・

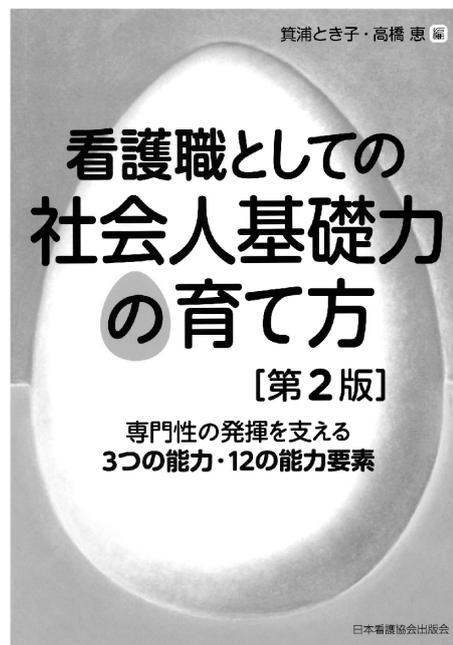
3) 元聖マリアンナ医科大学病院・

5) 金沢医科大学・7),8) 湘南平塚看護専門学校・

9) 石川県立看護大学

日本看護協会出版会(2018年発行)

定価 3,000円(税別)



本書は、「看護職者としての社会人基礎力の育て方」(第1版)の続編で、看護学生、新人から中堅看護師、指導者や管理者に求められる社会人基礎力の解説書である。

ねらいは、社会人基礎力を看護職としてのキャリア形成に活かすことにある。年齢または立場、役職または役割で必要とされる社会人基礎力のレベルと評価について説明を加えた。併せて、臨床と看護基礎教育をつなぐ観点から、初年次から社会人基礎力を育てる実習、ゼミ、授業の工夫、さらには学生とかわる教員に求められる社会人基礎力についても取り上げた。

各部の内容は、次の通りである。「Ⅰ部(総論)社会人基礎力とは」,「Ⅱ部(臨床)看護職としての社会人基礎力(1章 看護職としての社会人基礎力, 2章 新人看護職の社会人基礎力の育成, 3章 2年目以降の看護職の社会人基礎力, 4章 看護職としての社会人基礎力と3ヶ月・1年目・中堅の行動指標)」,「Ⅲ部(看護基礎教育)看護学生が卒業までに身につけたい社会人基礎力(1章 臨床での活躍に求められる力の意識的な育成, 2章 “現場に必要な基礎力”の可視化と評価ツールの開発, 3章 看護学生に伸ばしたい社会人基礎力, 4章 年次別チェックリストを活用した学習・学生生活全般での社会人基礎力の育成, 5章 社会人基礎力を意識的に育む授業とは, 6章 フィールド実習を通じた社会人基礎力の育成, 7章 学生が自身の健康・生活を管理する力の育成)」,「参考 看護教員としての社会人基礎力」。

社会人基礎力の必要性は認識しているが、どの力をどのように高め、育てればよいのか試行錯誤されている方に、役立てていただけたら幸いである。